

2015年9月24日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』

第39回 初瀬 勇輔 氏

(柔道 90kg 級現役パラリンピアンであり障害者就労支援の専門家)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:小野清子 以下:SSF)は、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々にお話を伺い、スポーツの価値や意義を検証、あるべきスポーツの未来について考えるスペシャルサイト「スポーツ歴史の検証」を連載しております。本年度は、パラリンピアンや、ご自身の活動をとおして障害者スポーツをけん引してこられた方にフォーカスしており、今回は初瀬勇輔さんにご登場いただきます。

初瀬さんは視覚障害柔道選手として 2008年北京パラリンピックに出場、現在は視覚障害者柔道で 2016年リオデジャネイロパラリンピック出場を目指し日々練習に励まれています。また、障害者雇用促進のための企業設立をはじめとするさまざまな活動をとおして、障害者スポーツの振興に貢献されています。インタビュアーには、多くのスポーツの名場面に立ち会ってこられた山本浩氏をお迎えし、2020年以後の障害者スポーツおよび、障害者を取り巻く日本社会のあるべき姿などについてお話を伺いました。SSFウェブサイトでの公開詳細は以下のとおりです。ぜひともご覧ください。

『3つの顔で、障害を取り巻く世界を変える』

初瀬 勇輔 氏

【公開日時】2015年9月24日(木) 10:00 一斉公開

【URL】<http://www.ssf.or.jp/history/>

笹川スポーツ財団 歴史の検証 で検索ください

【主な内容】スポーツ選手、協会運営、実業の3足のわらじ/パラリンピック出場を契機に、さらに人生が広がる/100社以上落ちまくった就職活動/スポーツを通じてユニバーサルな社会をつくりたい など

<プロフィール>

初瀬 勇輔 (はつせ ゆうすけ) 氏

1980年長崎県出身。中学時代から柔道を始め、地元である長崎県の強化選手となる。高校卒業後上京し中央大学に進学、弁護士を目指すも緑内障を発症。そののち、視覚障害者柔道と出会い再び柔道の道へ。現在は、視覚障害柔道選手として活動するかたわら、障害者と企業の橋渡しをするため自身が設立した、株式会社 ユニバーサルスタイルの代表取締役を務める。一般社団法人 日本パラリンピアンズ協会理事。主な戦績に、柔道 90kg 級で、全日本視覚障害者柔道大会優勝(2005~2011年7連覇)、2008年北京パラリンピック出場、2010年広州アジアパラ競技大会優勝 ほか。

山本 浩 (やまもと ひろし) 氏

1953年生まれ。スポーツ評論家。NHK在職中はエグゼクティブアナウンサー、解説委員(スポーツ・体育分野専門)として活動。現在は法政大学スポーツ健康学部教授を務める。

<スポーツ歴史の検証>概要

【企画制作】公益財団法人 笹川スポーツ財団

【後援】文部科学省、東京都、公益財団法人 日本体育協会、公益財団法人 日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス

この件に関するお問合せ先

笹川スポーツ財団 経営企画グループ:古坂(ふるさか)

TEL:03-5545-3301 info@ssf.or.jp